

膠原病・リウマチ内科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 臨床所見に基づくベーチェット病の亜群分類およびゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出と全国的レジストリ構築

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

土橋浩章 膠原病・リウマチ内科 診療科長

(この研究は、横浜市立大学を主幹機関とする多施設共同研究として行います。)

[研究の目的] まずベーチェット病患者について、臨床情報による亜群分類を試みます。ついで各亜群と疾患感受性遺伝子の関連を解析し、亜群形成に寄与する遺伝素因を解明します。また全国的なベーチェット病レジストリ構築にむけて臨床情報・検体を集積します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

ベーチェット病の患者さんで、平成3年7月から令和3年12月10日の間に、膠原病・リウマチ内科に通院・入院された方

○利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、発症年齢、罹病期間、既往歴・合併症、家族歴、嗜好歴などの基本情報、ベーチェット病の主症状、副症状の出現時期、臨床検査所見、画像所見、治療内容、血清・髄液・唾液・便などの臨床検体など

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する本学所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の研究組織へ提供します。

[研究組織]

桐野洋平	横浜市立大学 血液・免疫・感染症内科
岳野光洋	日本医科大学 大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科分野
桑名正隆	日本医科大学 大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科分野
長岡章平	横浜南共済病院 膠原病リウマチ内科
大野滋	横浜市立大学附属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター
浅見由希子	横須賀市立市民病院 横須賀リウマチセンター
井畑淳	国立病院機構横浜医療センター 膠原病・リウマチ内科
上原武晃	茅ヶ崎市立病院 リウマチ膠原病内科
五十嵐俊久	大和市立病院 リウマチ科

関口章子 藤沢市民病院 リウマチ科
曾我隆義 静岡赤十字病院 リウマチ内科
大久保忠信 済生会横浜市南部病院 リウマチ・膠原病内科
国崎玲子 横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター
東野俊洋 北里大学 膠原病・感染内科
廣畑俊成 北里大学 膠原病・感染内科
大村浩一郎 京都大学 臨床免疫学
宮川一平 産業医科大学 第1内科
田中良哉 産業医科大学 第1内科
黒澤美智子 順天堂大学 衛生学
菊地弘敏 帝京大学 リウマチ・膠原病内科
古賀智裕 長崎大学 リウマチ・膠原病内科
川上純 長崎大学 リウマチ・膠原病内科
小林大介 新潟大学 腎・膠原病内科
藤枝雄一郎 北海道大学 免疫代謝内科学
渥美達也 北海道大学 免疫代謝内科学
寺尾知可史 理化学研究所 生命医科学研究センター
蕪城俊克 東京大学医学部附属病院 眼科学
後藤浩 東京医科大学 眼科学
中村晃一郎 埼玉医科大学 皮膚科学
南場研一 北海道大学 眼科学
井上詠 慶應義塾大学 消化器内科学
久松理一 杏林大学 消化器内科学

[研究代表者]

横浜市立大学 血液・免疫・感染症内科 桐野洋平

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科

担当医師 土橋浩章

電話 087-891-2145 FAX 087-891-2147